

立ち居振舞いの基本・心構えから課題対処のノウハウまでを
業務遂行場面ごとにアドバイス！

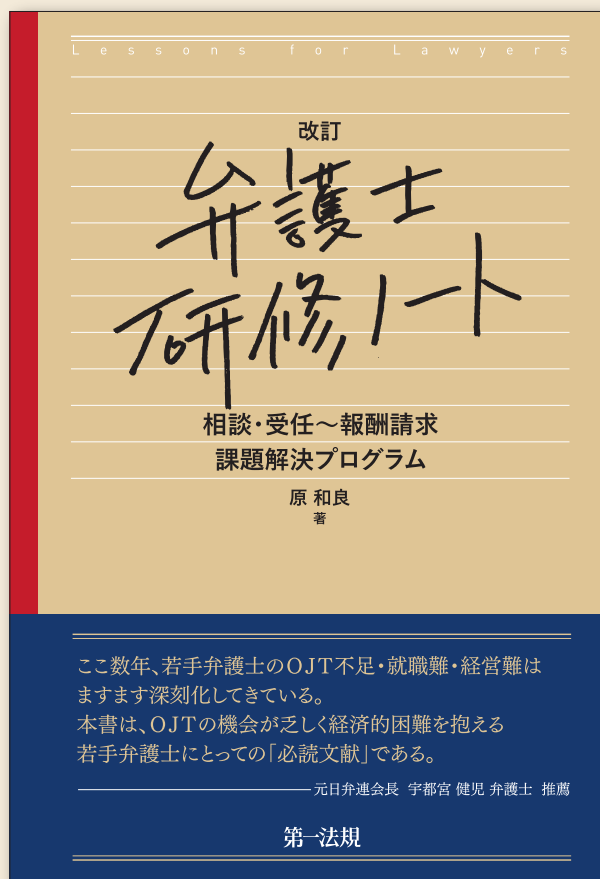
改訂

弁護士研修ノート

相談・受任～報酬請求 課題解決プログラム

原 和良 [著]

四六判 / 252 頁 定価：本体 1,800 円 + 税



本書の特長

- 若手弁護士が直面する課題に対して、解決のヒントを提示！
- 日常直面する課題を、クライアント対応の流れに沿い、わかりやすく解説。
- 法改正による見直しのほか、「最終準備書面」等の項目及びポイントレッスン（コラム）を追加した改訂版。
- 基本的な悩み・疑問に応える、若手弁護士の強い味方！

北 周士・田畑 淳・野田 隼人・深澤 諭史・向原 栄大朗 [編著]

『**弁護士 独立・経営の不安解消 Q&A**』

も好評発売中!!



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<https://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

目次 (抜粋)

Lesson1 法律相談

コミュニケーションとしての法律相談 ほか

Lesson2 受任契約

依頼者との同盟 (WIN=WIN) の関係 ほか

Lesson3 交渉

仲裁者を味方につける ほか

Lesson4 訴訟

プロセスとしての裁判、事件管理 ほか

Lesson5 報酬請求

継続して良質なサービスを提供するために
必要な報酬 ほか

Lesson6 分野別実務

[総論]

書面をチェックするよい方法や仕組みは／事務処理能力を高めるには／新人は、専門分野と全般と、どちらに力を入れるべきか／人権や社会貢献に関わる仕事がしたいが、収入との折り合いをつけるには／タイムマネジメントや事件の工程管理をうまくやるには／急な仕事、無理な仕事、不得意な分野の仕事が来たときに受任すべきか／ホームページは作るべきか／報酬表は公表すべきか／ストレスや健康の管理をどうすればよいのか

[事例]

債務整理／離婚・養育費・親権／相続／交通事故／売掛金回収／契約書チェック／残業代請求／刑事事件 (国選弁護)

実務で直面する
課題・解決への
ヒントをわかり
やすく解説

4.1 委任契約書、費用の説明

受任と費用が決まったら、必ず委任契約書を作成しましょう。弁護士職務基本規程にこのことは明記されていますので、これは弁護士として最低限の義務です。

【弁護士職務基本規程 30 条 (委任契約書の作成)】

1 弁護士は、事件を受任するに当たり、弁護士報酬に関する事項を含む委任契約書を作成しなければならない。ただし、委任契約書を作成することに困難な事由があるときは、その事由が止んだ後、これを作成する。

2 前項の規定にかかわらず、受任する事件が、法律相談、簡易

ポイントレッスン

法律上敗訴が予想される訴訟の提起と 意見書の作成・交付

訴訟事件を受任する場合、弁護士は、事件について有利な結果となることを、請け合い、または保証してはなりません (弁護士職務基本規程 29 条 2 項)。逆に、敗訴の可能性が濃厚な事件についても、さまざまな理由で受任せざるを得ません。しかし、このような事件を受任する場合は、後で依頼者とトラブルになりがちです。特に、弁護士が敗訴の可能性が濃厚なことを話しても、理解ができていない危険性がある場合などは、事件の見通し等についての説明、リスクについての説明を書面として残しておくことは、後日の依頼者とのトラブルを回避する上で、重要な役割を果たします。また、そのような書面を残しておいて、結果的に敗訴した場合は、その結果を説明する機会を失った結果、最初の指摘どおりに敗訴し、依頼者からの信頼を失うことにつながります。この見通しの正しさを逆に証明する結果、依頼者の信頼を高めることにつながります。

ポイントレッスンで
実務のイメージが
つかめる！

詳細・お申し込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規 ストア

検索

CLICK!